JR 神戸線

～神戸線とは～

西日本旅客鉄道東海道本線のうち、大阪駅から神戸駅までの区間、また山陽本線のうち、神戸駅から姫路駅までの区間の名称である。途中、兵庫駅からは、単線の和田岬線が走っている。駅の数は、38駅で、営業キロは、87、9kmの瀬戸内海沿いを走る路線だ。

～運転形態～

琵琶湖線・京都線と一体化した運転系統になっている。種別は、新快速・快速・普通のみである。一方、福知山線では、丹波路快速が運転されている。特急列車は、「はまかぜ」、智頭急行の「スーパーはくと」。寝台特急列車は、「サンライズ瀬戸」「サンライズ出雲」が運転されている。

～新快速～

朝ラッシュ時は姫路～大阪間の上りは、8分間隔・12 両編成で運転されている。日中は、1時間あたり大阪～姫路間で4本、姫路～播州赤穂間で1本運転されている。

～快速～

朝ラッシュ時は姫路～大阪間の上りは、8分間隔・12 両編成で運転されている。日中は、1時間あたり大阪～加古川間で4本、加古川～姫路間で2本運転されている。

～普通～

朝ラッシュ時は加古川～西明石間の上りは、8分間隔で運転されている。西明石～大阪間は、4分間隔で運転されている。

～和田岬線～

兵庫駅から和田岬駅を結ぶ和田岬線は単線のため、1日の運用本数がとても少なく、平日は10時～16時の間は1本も走っていない。休日は1日に2本しか走っていない。

～使用車両～{普通列車}

321系　網干総合車両所の車両を使用し、普通として、大阪駅～西明石駅･加古川駅間で、運転されている。

223系　網干総合車両所の車両が、使用されている。1995年8月12日から、運用を開始し、新快速･快速と西明石駅～姫路駅間の普通列車に運用されている。

221系　網干総合車両所の車両が使用されている。快速に使用され、一部の列車は223系と併結して、運転されている。

～使用車両～{特急}

キハ 189 系　吹田総合車両所に所属する車両で、特急「はまかぜ」として全線を走行している。2010 年 11 月 7 日からキハ 181 系代わって運転を開始した。

HOT7000 系　智頭急行の車両を使用し、特急「スーパーはくと」で使用されている。

～使用車両～{寝台特急}

285 系　寝台特急「サンライズ瀬戸」「サンライズ出雲」で使用されている。

～阪神･淡路大震災からの復旧～

1995 年 1 月 17 日に発生した阪神･淡路大震災は、JR 神戸線に大きな影響を及ぼした。西宮駅～須磨駅間で貨物列車を含め、8 本が脱線した。駅施設などは、六甲道駅を中心に高架橋や柱に大きな被害を受け、新長田後から、全線で運転を見合わせたが、震災当日に運転を再開することができず、翌 18 日に大阪駅～尼崎駅間の上下線と、西明石駅～姫路駅間で運転を再開した。運転再開は、折り返しができる駅を活用して、工場が進められた。そして、震災から、2 か月 10 日で全線復帰することができた。

～この路線に乗って～

私は、この合宿で初めて関西地方に行った。いつもと違う路線、窓から見える風景がとても素敵で、感動した。海が見えたりする、素晴らし路線なので、是非足を運んでみてはいかが。

最後までお読みいただきありがとうございました。

～参考文献～

Wikipedia @

･交通新聞社